

令和6年度 地方独立行政法人京都市立病院機構ホームページ 年間保守運用管理業務 委託仕様書

1. 目的

京都市立病院機構（以下「機構」という）の管理するホームページ（以下「HP」という）は「京都市立病院機構」「京都市立病院」「京都市立京北病院」「京都市立病院看護部」の4種類があり、いずれも一体感を持って年間保守業務を委託している。

HPはコンテンツマネジメントシステム（以下「CMS」という）として、WordPressと複数のプラグインを活用し、ユーザーが容易に修正し、即座に内容をHPに反映できるようにするとともに、その運用に支障が生じないように、適切なセキュリティ対策に基づいて、保守運用管理を継続している。

今般、令和6年4月からの HP 保守運用管理業務委託（以下「本業務」という）に係る、プロポーザルを行うもの。

2. 用語の定義

用語	説明
CMS	ホームページビルダーなど、HP 作成の専用ソフトウェアを使用することなく、一般的なインターネットブラウザを使用して、HP を作成運用できるシステム。
テンプレート	ページ作成時に利用するひな形。定型で多数のページを構築する際に利用する。
トップページ	機構、京都市立病院（看護部含む）、京北病院の各HPの表紙となるページ。
中面ページ	表紙以外のページ。
コンテンツ	CMS 内に格納される記事内容。

3. 保守運用管理対象HP

- (1) 京都市立病院機構：<https://www.kch-org.jp/kcho/>配下のページ
- (2) 京都市立病院：<https://www.kch-org.jp/>配下のページ
- (3) 京都市立京北病院：<https://www.kch-org.jp/keihoku/>配下のページ
- (4) 京都市立病院 看護部：<https://www.kch-org.jp/kango/>配下のページ

4. 本業務に係るCMS環境

ア WordPress のバージョン：6.3以上

- イ PHPのバージョン : 7.4以上
- ウ My SQL : 5.7以上
- エ サーバー : 上記ア～ウが正常に稼働するサーバー

5. 業務内容

保守運用管理対象HPを安定的かつ継続的に利用可能な状態に保つために、以下のとおり保守運用管理を実施すること。

(1) 必要とされるCMSの主な機能

ア コンテンツ作成機能

(ア) デザインテンプレート

I トップページ用テンプレート 4種

- i 京都市立病院機構
- ii 京都市立病院
- iii 京都市立京北病院
- iv 京都市立病院 看護部

II 汎用の中面ページ用 10種程度

III テンプレートに付随する構造構築上必要な一覧ページ

- i フォント・表・一覧等、知識の無い職員でも、簡易にページを作成する機能
- ii ファイル添付及び、その管理機能

イ お知らせ管理機能

トップページに、任意の情報へのリンクを貼付する機能

ウ 新着情報管理機能

広報その他の情報を簡易に発信する機能

エ トピックス管理機能

トップページにテキストバナーを表示する機能

オ キーワード検索機能

キーワードにより、HP内を検索する機能

カ アカウント管理機能

下記の担当毎のアカウントを作成・設定

(ア) 入力担当者

コンテンツの作成・編集を行うためのアカウントとする。コンテンツの公開権限は持たない。

(イ) 管理者

コンテンツ作成、更新並びに、ページの公開権限、ユーザー管理権限を有するアカウント

キ コンテンツ管理機能

(ア) コンテンツ承認機能

管理者ユーザーがコンテンツの承認を行う機能

入力担当者が作成したコンテンツは管理者ユーザーが承認することにより公開される。

(イ) コンテンツ申請機能

入力担当者が作成もしくは更新したコンテンツについて、掲載の承認申請を行う機能

(2) バックアップ・復旧等

ア バックアップ管理

1日1回最新複数世代分のバックアップを取得できる体制等を構築する。

*医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第6.0版 チェックリスト抜粋

「重要なファイルは数世代バックアップを複数の方式で取得し、その一部は不正ソフトウェアの混入による影響が波及しない手段で管理するとともに、バックアップからの重要なファイルの復元手順を整備しているか」に対応する体制を求めます。

イ 復旧体制等構築

(ア) 復旧

CMS上の機能（リビジョン管理、ゴミ箱）を通じて復旧可能なものについて復旧を行える体制を整えるとともに、「完全に削除」を行ったコンテンツについても可能な範囲で復旧できる体制を構築する。

(イ) 障害対応

Webサーバー等で障害が発生した場合は、直ちに状況の把握を行うとともに、障害箇所の特定、影響範囲の調査、速やかに障害復旧体制を構築する。また、解決後は原因究明と、問題解消に向けた提案を行える体制を構築する。

(3) コンサルテーションの提供

戦略的な情報発信の効果測定を図るため、Google Analytics等を用いたアクセス解析を定期的実施し、その結果を元にHPの問題点や改善点を分析し、改善策を示すとともに、医療・社会環境の変化に合わせて、定期的デザインの変更や、新機能追加等助言提案を行える体制を構築すること。

なお、デザインの変更や新規機能追加等に伴い発生する業務は、本業務外の取り扱いとする。

(4) セキュリティ等への対応

ア 完全性・機密性の確保

システムに保存されている情報について、第三者による紛失、改竄、漏洩を防ぐとともに、データが権限のない第三者から閲覧されないようにするための対策を講じること。

イ アカウント、パスワード、ログ管理

アカウントについて管理台帳等を整備し、セキュリティレベルに応じてパスワードの変更を求める等の対応、ウェブアプリケーションのログの保管、定期的な確認を行うこと。

*医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第6.0版 チェックリスト抜粋

「ウェブサイトの運営において、事故や故障、不正アクセス等の不審な動きがあった際に、原因を追究するための重要な情報源として、必要に応じてウェブアプリケーションのログを保管し、定期的に確認をしているか」に対応する体制を求めます。

ウ ソフトウェア・ファイアーウォール等管理

本業務に必要となるサーバー・CMS・DB等に係るソフトウェア（ファームウェア及びプラグインを含む）に関して、セキュリティパッチや脆弱性対策のバージョンが公開された場合は、適用判断を速やかに実施し、機構へ報告した上で、バージョン更新等の対応を行うとともに、ファイアーウォール設定管理等により、不正アクセス防止に努めること。

エ リモート監視

ネットワーク・サーバー・データベースソフト・Webサービス・ストレージ容量等、HP稼働に必要な各種ツールが、適切に稼働していることを監視できる体制を構築すること。

(5) ユーザーサポート体制等の構築

ア 入力サポート

ページ作成、修正、更新に係る作業、CMSの操作方法照会、ページのレイアウト崩れ等のトラブル時、電話、メール等で即座にサポートできる体制の構築。

イ 即時反映サポート

ページ作成、修正、更新後に即座にHPに反映しない場合のサポート体制の構築

ウ サポート対応、障害発生時の対応時間

障害発生時等、365日24時間体制で専用電話による対応が可能な体制の構築。
(常時つながる複数の連絡先があると尚可)

エ 拡張性の確保

利用者の増加等によるパフォーマンスの劣化が生じた場合、ハードウェアの状況と併せて解消方法を検討し、速やかに対策を講じること。

※ パフォーマンス劣化の指標は、機構のネットワーク環境下にて、
クリック後3秒～5秒間応答が無い場合とする。

(6) 報告

次の事項について四半期に1回報告できる体制を構築すること。

- ア ページビュー数
- イ 検索キーワード実績
- ウ 不正侵入や攻撃の内容
- エ 脆弱性の点検結果
- オ 更新履歴
- カ その他、必要に応じて求めるもの

(7) 検査

必要に応じて、本業務が正確に遂行されていることを確認する場合、技術者立会の元、検査を行える体制を構築すること。なお、検査に係る費用は保守費用を大幅に超えない限りは、本業務の範囲内とする。

6. 委託期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

7. 特記事項

- (1) 当該業務に係る予算については現在予算編成中であるため、予算が成立しない場合は当該プロポーザルを無効とする。なお、この場合において本プロポーザル方式に要した費用を当機構に請求することはできないものとする。
- (2) 本業務は許可なく、他に公表、使用、譲渡、販売、又は貸与してはならない。
- (3) 本業務から新たに発生した設計書類等及び開発部分（市販の汎用アプリケーション等パッケージソフトに帰属する部分を除く。）の著作権その他権利については、機構に帰属するものとし、受託者は成果物に関する著作権者人格権を行使しない。
- (4) 本業務の範囲内で、第三者が権利を有する著作物又は知的所有権等を利用する場合は、受託者の責任において、その権利の使用に必要な費用を負担し、使用許諾契約に係わる一切の手続を行うこと。また本業務の範囲内で、機構に帰属しない著作物がある場合、受託者は、当該著作物の関連文書を成果物として納入するものとし、この関連文書の取り扱いについても同様とする。